

講義名	教職実践演習【教職に関する科目】		
科目区分	教職に関する科目		
担当教員	水田 聖一 / 池田 曜子 / 西尾 範博		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
	2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 / 2016年度 商学部 マーケティング学科 / 2016年度 商学部 経営学科 / 2015年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2015年度 人間社会学部 観光学科 / 2015年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2015年度 経済学部 経済情報学科 / 2015年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	4年生	単位数	2
		講義コード	32104

主題と概要
これまでに履修した教科及び教職専門科目に関する知識技能を踏まえながら、「教師としての使命感や責任感、教育的愛情」、「社会性、対人関係能力」、「生徒理解力、学級経営力」、「教科指導力」において必要な資質能力を高める。 イントロダクションは学内の教員全員で行い、その後、教職担当教員3人のオムニバス形式で講義・グループ討論・フィールドワーク・模擬授業等を行う。その際、学内の「教科に関する科目」の担当教員と協力して行う。7回目以降は「商業科」と「公民科」に分ける。 5回程度、学外の実習委員会や教員の協力を得て、学校見学を行い、ゲストティーチャーとして講義やグループ討論の指導を得る。

到達目標
・教師としての使命感や責任感を持ち、学習者に対する愛情を豊かに持つ。 ・社会性や対人関係能力について、深い洞察力と実践力を身につける。 ・生徒理解や学級経営等に関して、必要な能力の基礎を身につける。 ・教科指導において、教師として最低限必要な実践的運用能力を身につけ、研鑽を深めていく。

提出課題
レポート、グループ討議、指導案の提出、模擬授業など

評価の基準
レポート(40%)、グループ討議(30%)、模擬授業(30%)、を総合的に判断する。

履修にあたっての注意・助言他
皆出席を前提とする。 教育実習の資料等を持参すること。

教科書
教育実習・教職実践演習・フィールドワーク 石井英真・渡邉洋子 協同出版 2200 978431900337

プリント資料及び参考文献
高等学校学習指導要領解説(文部科学省)

授業計画
1. [イントロダクション] 学修の振り返り、講義概要・進め方の説明(担当:西尾、水田、池田) 2. [教職の意義と職務内容] 教職の意義、教員の役割(グループ討議、ロールプレイング) (担当:西尾) 3. [子どもに対する責任] 教師の役割、使命、責任(グループ討議等) (担当:水田) 4. [生徒理解1] 生徒理解全般に対する講義、グループ討議(担当:池田) 5. [対人関係] 社会性や対人関係能力に関する講義、グループ討議(担当:池田) 6. [生徒理解2] 生徒の家庭生活実態に関する講義、グループ討議(担当:池田) 7. 学級経営案の作成とグループ討議(公民科担当:西尾、商業科担当水田) 8. 保護者への対応・連携に関する講義、グループ討議(公民科担当:西尾、商業科担当水田) 9. 学校教育現場の見学(公民科担当:西尾、商業科担当:池田) 10. 学校教育現場の調査(公民科担当:西尾、商業科担当:池田) 11. 学校教育現場見学・調査の振り返りとグループ討議(公民科担当:西尾、商業科担当池田) 12. 模擬授業の計画立案(公民科担当:西尾、商業科担当水田) 13. 模擬授業の実施(公民科担当:西尾、商業科担当水田) 14. 模擬授業の講評(公民科担当:西尾、商業科担当水田) 15. 授業のまとめ、討議の振り返り。教師としての資質能力の自己評価(公民科担当:西尾、商業科担当水田)

予習・復習
模擬授業に備えて、指導案の作成や教材研究を十分に行うこと。

備考
学校教育現場への見学は、毎週の開講時間とは別の日時に行います。